

関係者各位

当社の現状に関するご報告

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日、「平成24年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の発表を行い、当社グループは平成24年12月期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）において、売上高1,594百万円、営業利益144百万円、経常利益88百万円という成果となりました。

当社は平成23年度において事業リストラクチャリング及びそれに伴う大きな損失を計上しており、平成24年度は不退転の決意のもと、安定収益が獲得できる事業基盤の確立と企業収益の黒字化、失墜した信頼の回復を使命として役職員一同、誠心誠意、努力を重ねてまいりました。

第1四半期から事業リストラクチャリングの効果が表れ、基幹事業からの安定した売上を計上するだけに留まらず、徹底したコスト管理・削減を実践し、四半期利益を計上することができたことに加え、以降も継続的に安定した収益確保が見込まれることから「継続企業の前提に関する注記」が解消されることとなりました。第2四半期においては事業収益の強化と継続的なコスト削減により、昨年2月に発表いたしました当初計画を上方修正するに至りました。第3四半期には、平成23年度より手掛けてまいりました開発物件の1棟売却が完了したことによる不動産販売事業での収益貢献、さらには平成26年度完成予定の事業用地を取得して新規物件の開発プロジェクトも開始し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することができました。そして、この第4四半期も全社一丸となってさらなる高みを目指した結果、当初の平成24年度業績予想である、売上高1,565百万円、営業利益91百万円、経常利益34百万円を大幅に上回る結果を残すことができました。

役職員の一人ひとりがそれぞれの立場や責任においてやるべきことをしっかりと考え、確実に実践してきたことに加え、当社の復活にご協力いただいた関係者各位のご支援の結果であり、改めて感謝の意を述べる次第であります。

しかしながら、昨年度に獲得した売上・利益はあくまでも昨年度のものであって、今期はまたゼロからの積み上げとなります。平成25年度は本日発表しております決算短信に記載の業績予想にありますとおり、売上・利益ともに昨年度と比較して減少する見込みとなっております。

不動産管理事業・不動産仲介事業といった当社の基幹事業からの安定収益を確実に計上していく「ストック型フィービジネス」は昨年だけに限った収益モデルではありません。今期においても同事業のさらなる強化を重要施策として取り組み、収益基盤の拡大を図ってまいりますが、売上・利益面で前期と大きく異なるのが、今期は完成する販売用不動産

が見込めていないという点にあります。

昨年度において、平成25年度の販売用不動産確保を目指して、用地取得・仕入活動を行ってまいりましたが、残念ながら平成26年2月完成予定の1物件の仕入れで終わっております。

現状で見込める売上・利益計画を業績予想としておりますが、当然のことながら、それ以上の売上・利益の獲得、さらには昨年度以上の経営成績が残せるよう、高い目標を設定して役職員一丸となって取り組んでまいります。

また、事業の推進方法を再度検討しております中国・海外諸国へのビジネス展開については、事業としての確実性や将来成長性、対象国の法的な諸条件、事業リスクの把握や企業統治といったガバナンスのコントロール等、様々な経営課題を解決していく必要があります、時間はさらに要することになると理解しておりますが、海外へ収益機会を求め挑戦していくことは今後の当社の業容拡大に必要であるとの考えに変わりはありません。

今後も企業価値並びに株主価値の向上を目指すべく、鋭意努力を重ねてまいりますので、株主様、お客様、お取引業者様など関係者の皆様には、引き続き変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年2月
株式会社陽光都市開発
代表取締役 田中 忍